六十四議會

影が映つてくるのである。

くるのである。

多角的戰術

漸く深刻化

抜けたビールの議會

が満州からはるが、帝都を訪

必ずしも交 港開始を して積極的 長期抵抗 の方針は 變更せず、 の方針は 變更せず、 順愛加の公開會議 の

正、麻倫、張家口問親道建設は 蘇支合親さする 四、外蒙の獨立は認めぬが、蘇 聯の特殊機益を認む

### 界 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人帽鵜 盛武 村本 人剔印 地番一卅町棚公東市連大 社報日洲滿社會式樣所行發

日滿

団結

滿洲國今

後の方針

鮑滿洲國代表の聲明

### 首相園公訪

### 〈渉の際は列國參加 列國とは利權を以て提携する 長期抗日

## 支那の新外交政策

### 結、次いで秘 密協定 無支不可侵 條約を締 た、東聯より軍事教官招聘 た、東聯より軍事教官招聘 年延長

ソウエ

な、このため學良な演佛せし 数成立の商議に 努め 交渉中 交渉中

英に對しては 西藏、四川 て継続なる武器魔教が服念日へ向の鑛山開 發を許容し けッウエートから自転車で輸送しア メリカ (一次) は、 一次 (一次) は、 一次 (一次) であることは事態である、最近により武器を購入し、米人順間 近張家口に到着した輸送ようツク (一次) であることは事態である、最近により武器を購入し、米人順間 近張家口に到着した輸送ようツク (一次) でおきことは事態である、最近により武器を購入し、米人順間 近張家口に到着した輸送ようツク (一次) であることは事態である、最近により武器を購入し、米人順間 近張家口に到着した輸送ようツク (一次) でおきことは事態である、最近により、大阪 (一次) であることは事態である、最近により、大阪 (一次) であることは事態である、最近により、大阪 (一次) であることは事態である。最近により、大阪 (一次) であることは事態なるとは、 (一次) であることは事態である、最近により、大阪 (一次) であることは事態である。最近により、大阪 (一次) でおきに対し、 (一次) でおり、 (一次) でおり、 (一次) でおり、 (一次) でおり、 (一次) である。 (一次) でおり、 (一次) では、 (一次) でおり、 (一次) では、 (

### 二相會見は寧ろ 軍視されてゐる り最近の選玉祥に格る問題さして 滿洲國の使命である【寫眞は鮑代表】保障のために横暴な分子な膺懲するの行使は例へば外科の醫者が手術を施するの

政局轉換を促進 居据り說と政友觀測

授務整理な為し職職脱選事務り終 くなるから、動く由重し議會後の はあるから、動く由重し議會後の

佛、蘇さ密接な関係を「綺麗してゐる馮玉牌が果して蔣介」今は?の人物さしてその出塵進選「所への暗釈によるさ庫倫を総する」「本天電話」北支軍政権の移動を一石の一派さ合流するか、ごうか、」は注視の的さなつてゐる、所

張家口にトラツク既に百臺餘

注目さる、馮の態度

武器を支那へ

日本掣肘に立脚する

米國のロシア承認論

我外務當局對策を考慮

とようさいふ一時的な収拾 第に過ぎず、右會見により政局安 にもの理命延長されたのでな があるが表表されたのでな 月早々實施銀定の爲答管理法質。東京二十四日登】準備完了欠第 爲替管理部長 委員會で査定の 大連市明年豫章

廿六日の市會に

大連市昭和八年度豫第書談の検別

懸案解決

無能は物質素を表して、 四日朝来連ヤマトホテルに接着し たが来連の目的につき左の如く語 たが来連の目的につき左の如く語

米ツの對立が、日本の滿洲における行動

無調仰附けられ、軍床を奏上 上京とた關東軍職村参深訓長 上京とた関東軍職村参深訓長

軍狀を奏上 岡村參謀副長

ソ兩國が我が對支對滿政策につき協同動作に出づる傾コンソン氏一派な光顯に稱常有力である、しかしル氏が之に陳鵬するやは疑問で

十河理事上京

大湾の日本禅定航は不許可の方 まずわ」 好いちやないの。別に悪いこさを きう言はれるさ、文子も の上、拒むわけに行かなかつ

からだが、ふゆ・ からだが、ふゆ・ からだが、ふゆ・

社で食賃三百出席の

札発公司の

せてあたっ らう、類がゆうを活ばま

一線観れない巧きで、軽々さ難る 「きア、今度 「私……」交子はまだ躊躇して、 大きの音樂が始まるさ、晶子が



### 後接會總會

救護各團體合同協議 新一税 全门至 六0名 新一税 全门至 六0名 大(福時部)

(門司特電ニ十四日数) 二十六日 大連人港東定のうてりい丸主なる うすりい丸船客

の平和は、團結は、今こそそ 要協議を遂げたマック英首様は二のパリで四國協力條約案について軍の 英首相歸國

てるる現状である、昨介石自身はさい、軍東洋に手を出す筈はない、軍東洋に手を出す筈はない、軍東洋に手を出す筈はない、軍東洋に手を出す筈はない、軍

アはアジアで團結して行か

の概型神に勝朝の途についた 今朝九時出駅の長崎丸で多数官民 なの数ではた 有吉公使出發

電二十四日整」駐日滿洲國代表総製造氏は二十三 東新聞運信能者を公署に探探し、総河詩便後満洲 東新聞運信能者を公署に探探し、総河詩便後満洲 地方でき方針に關し大體次の如き勢明を爲した 村平において日支爾國は幾多の自人種に緊迫され たやうな外交が出來なかった。最近のアメ ふやうな外交が出來なかった。最近のアメ は經濟恐慌のために積極的には は一來ない、歐洲各國と雖も濫りに 

に帰還し直に會議甲の閣議に出牒

山熊 ホールである。。このフロリダ・ダンス た。実際、彼女は、婦人さしての工座を誇つて居るのは、言ふま だ、彼女の領が弱い から であつこと でもなく このフロリダ・ダンス た。実際、彼女は、婦人さしての たまれいである。こと、文子自身 カールである。 でもなく このフロリダ・ダンス た。実際、彼女は、婦人さしての たまれいである。 こと でもなく このフロリダ・ダンス た。実際、彼女は、婦人さしての おまました このフロリダ・ダンス た。実際、彼女は、婦人さしての おまま ホールである。

では、 をよりので、生れて始めてである。 をよりので、強さ無理矢理にあらゆる美徳を身に具へて居る女 をいって、生れて始めてであるたっ、たり、気が弱いさ言 をいって、生れて始めてであるたっ、たり、気が弱いさ言 をいって、生れて始めてであるたっ。然も、さらた氣の難さか なって、生れて始めてであるた。然も、さらた氣の離さか なって、生れて始めてであるた。、人間は、思ひがけない罪態さか なって、生れて始めてであるた。、人間は、思ひがけない罪態さか であったが、たど、氣が弱いさ言 であったが、たど、氣が弱いさ言 であったが、たと、気が弱いさ言 であったが、たと、気が弱いさ言 であったが、たと、気が弱いさ言 であったが、たと、気が弱いさ言 であったが、たと、気が弱いさ言

會後の応易安定の方案に関し種々十三日齋藤首相さの會見の際、議十三日齋藤首相さの會見の際、議

三酱

暖くさも朗らかに

メンソレータムの

寒くさも健やかに

で、に構造するダンス熱である。質際、つ……」 を だこ言はれるのが、全國の各都市 「さうですか。 の に構造するダンス熱である。質際、つ……」

う何年にも、踊つたここがないのはちく見せていたがくわ。私、も 「さうですか。では、大賞さん一

大澤さ晶子が難りに出るご、交 大澤さ晶子が難りに出るご、交

地方長官會議

來月中旬招集 ▲鷹元善氏

▲實性離成氏(大連新聞社長) 同上ヤマドホテル投宿 元善氏(黑龍江省實業廳長)同 東天紅

▲御厨信市氏(関東職外事課長心 等)同九時寮列車で福山翻譯生 た従へ新京へ



明日から春休み

けふは修業式

三春町派出所

先發隊

佳木斯移民團が

有望な炭田發見

伐採團が本部に報告

今夜東京出發

近く新設か

居住邦人が運動開始

ことになったが一行は柴田國士館 であるが一隊は鷹出せる石炭層を 有望視されてある 四四日午後七時東京藝新京に赴く 世探疵を組織し山林地方に入込ん たが埋蔵戦も帰露めるもの、如く馬を民の監禁指導を財飾さする鏡 ピハルビン二十四日登』佳木斯移 鼓見、直に本部に報告し来たので「東京廿三日登」満洲に於ける集

首都新京の實情を

遺憾なく紹介

春の視察園の殺到を前にして

關係方面の準備進む

(日曜土)

野が割合に多く養生する風春館さ 「眠で設立費の一部な資源する意向」 が比較師多く激伏する秋月町、雲 て三春町派出所新設の猛運動な脚が比較師多く激伏する秋月町、雲 て三春町派出所新設の猛運動な脚が比較に多く激光する秋月町、雲 て三春町派出所新設の猛運動な脚が上野経験等や三春町は思想が迎んが最近ななついたある。

源真攻の八木房之助助教授

八木助教授談

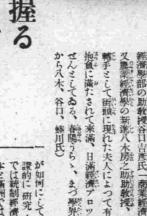
日

日満經濟の連繋さいふ事に電點日満經濟の連繋さいふ事に電點 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの資本流入の問題、日滿 大地よりの連繋さいふ事に電點

(=)

は

又農業經濟學の新進八木房之助跳數機、それに女子職業驗總に敵然さ立ち、自動車運經濟學部の助教機谷口吉彦氏「蘇業經濟學の立場から滿洲國の動きな見る……」ため め着のシーズンに懸けて墜発の権威者が磔蹶来速する、二十四日入港の希徴鬼は京大經濟變的立場から、あらゆる角度より日滿統縁の動き方な憲地に目で見、耳で聞くた せんさしてゐる、春陽うらゝ、まづ學界の士によつて滿洲の冬にさよならだ(寫真有理動に滿たされて來滿、日滿經濟アロックが如何にして可能であるかな實證的に研究學手さして舒脈に現れた夫人によつて有名さなつた縣川虎二助教授、孰れもそれか) して街頭に現れた夫人によって有名さなった蜷川虎二助教授、孰れし



### 八を語る 握る

水産經濟の視察に來た 蜷川虎二助教授

見たいさ思つてゐる、拓務省の見たいさ思つてゐる、拓務省のによって了解行く様にれるさ思ふ、農業移民になると思ふ、農業移民になって東に大掛りな調査班ではそのない。

三原山から死神退散の請願

商業經濟の 見地から

經濟を裏攻してゐる谷口吉彦 谷自助教授談

「東京二十三日養」二十三日の衆 一世級流行地に自殺防止と所施行の他 一さいふのが探接されたがそれ は伊豆大島元村の澤棚養之助氏の 一セントの講願であるさして注目 でですらい、時間根拠本百人の 一を立てるたが委員會は初の一般であるさして注目 では、一世級であるさして注目

銘仙を着て總會 滿洲代表選手を 神宮競技に派遣

婦人協會と社員會婦人部 九回撃銃射撃三回た撃行するこ 会が結成されを天に國際射撃場が とり役員僧を開催、岩井少郷以 こを申合せた とり役員僧を開催、岩井少郷以 こを申合せた とり役員僧を開催、岩井少郷以 こを申合せた といるが女學生にも勤誘 なに本年九月までには満州射撃協 なに本年九月までには満州射撃協

名減電か で採用

役員

新役員 大連安部では昭和八年

滿鐵連

動會

**を投票終了の結果新役員左の如く** 度役員改選中であったが二十四日



長いを能りから にさが出来るが、 ●務課)同田武安(報道部營業●整上顕技部 村上圖平(地方部両工課)山本貞義(地方部両工課)一次</li

際根を訪問同十時明治練宮に参拝一の上出妻する長に引奪され同日午前九時半荒木一の上出妻する

滿洲射撃界が大躍進 こし特に男巫生は多数人会して と射撃無な全市民に普及することを申合せた 三人や四人の迷された 木札を附ける

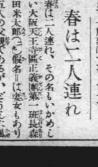
▲柔道部 江頭仁三(早頭事務所) ■ 編章平助(大連工事々務所) ● 編章部 由良龜太郎(經理部) ● 編章部 村田較(總務部文書際) 金川敏太郎(經理部主計課) ・ 一本語文書際 ・ 一本語画 ・ 一本語 ・ 一本語画 ・ 一本語 一本語

時代の要求のこの

春は二人連れ

五人の父親であるが、もこ神







信旨

に
ち
れ

マラソンの前哨戦

斷郊

技

大連運動場から鏡ケ池往復

連絡を執り指角滿州事情

南東の風(曇り)

選ぶか大なる興味あるレースで

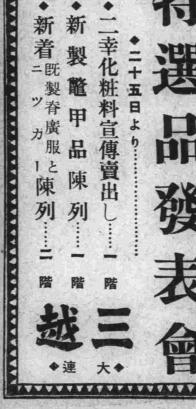
けふの小洋根場(十時)

場合汽船の北陸定期優秀船日本海丸 場合汽船の北陸定期優秀船日本海丸 を様六十名を限り御乗船の募集を致 を様六十名を限り御乗船の募集を致 著松着卅一日朝 若松着卅一日朝 代語の比陸定期優秀船日本海州若松行直航船 へ 行かが

伊参町電話五五五四・四七二三番 ンヤパンツーリストビユーロー 山縣通電話四七二・三四八二番 本汽船(線大連出張所四國 和食財 れる御日

二十五日ずり 掘出物 本 より 発 他 一日 本 より 銘 他 一日 本 より 発 門 アスハ 脚 戸 寒 一 大 脚 戸 寒 一 大 脚 戸 東 一 大 和 一 日 本 和 ー 日 本 和 一 日 本 和 ー E 本 ー - A 和 ー E 本 ー - A 和 ー E 本 ー - A 和 ー E 本 ー - A 和 ー E 本 ー - A 和 ー - E 本 ー - A 和 ー 一一一一一一 一一一一一一一 大反反物物枚反反 





りさ感激の埠頭 士を送る 熱河の傷病兵故山

海神道教師室田英三姓(2)

十四日出駅はるびん丸、出駅 行掛けの駄賃 になって一筆のオ



◆二十六日より二十八日まで… 品

6 述Ш

連市信濃町浪速町電停 滿毛百貨店大連分店

化面を覆り 賽錢泥棒



期間三月卅一日日 まよ

春向服地特價大賣出 七日間

新柄紳士用合服地 一碼

合オーバ地 同 五九十十

五 銭より

各

他其

物雜貨

は

総吾平椿油・かどや油舗・かどや油舗・



知つた時に、互に安心しきつてるを解手を五郎兵衛で知り、おぎんこの脈の雨の甲でさへ、

香茶四股 全極 T 力 一段 4松 T 力

の心 様さは すつかり 壁つてある おぎんにもたさころで、 年刻前

は、五郎兵衛の目の光りに無がつり込まれるやうに輝れたおぎ





料品専門の輸入卸元

オリヱンタ

なら定評ある

老名製造會社

営ホールのみが持つ獨得な味… (特設) 二 核 バン い 初の速き 純國粹情緒

目了五町速渡 ーホスンダ絵大



産前産後に欠かされぬる 1

 大連 浪速町

 電 話

 三 バ カ セ

 六 て 三 ー





(25)

(可認物便數理三第)

ち、油鉱をせぬ でもおぎんは殿つて伏地になってもおぎんの際に添うて坐つた。 ない場合を吹きながら、 てこれ、何さか云ってく これ、何さか云つてくれ。いつこれ、何さか云つて、、まい者をよんで、、まつて立

日五十二月三年八和昭

島耕二ら實演

二十五日、二十六日爾夜共六時より萬梁の櫻よ仇に咲く滿洲野の花に魁て

元祿花見踊の







Crth Old

當市大巾保

爲替小聢り

小聢

4)

圓枚圓枚枚枚枚枚枚

大連連鎖術樹店の窮狀はその後盆をの滞納増加するのみか満盤融が上しく飲店舗家養や輸設出資金の滞納増加するのみか満盤融通。金の滞納増加するのみか満盤融通。金の滞納増加するのみか満盤融通。金の滞納増加するのみが満盤融通。金のでは、1月1月1日 | 1月1日 |

に配信が出来たにせよ債権者は 要金の固定に甘んぜざるを得す 株券を處分せんさしても殆ど買 手つかす、非常の損失のもさに 手難可ほかない、次に本家が社 の利益さ全然相容れのはい ふまでもなく彼らは水年出資を

| 「東京二十四日寮 | 創立準備中の | (希望者多数に就き鎌定額を制 | 「一般公寨者に對する割當に可及 | 通明 | 一十五萬株 (豫定 | 一般公寨者に對する割當に可及 | 通明 | 一十五萬株 (豫定 | 一般公寨都保 | 十萬株 | 一般公寨者に對する割當に可及 | 一般公寨者に對する割當に可及 | 一般公寨者に對する割當に可及 | 一般公寨者に對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當に可及 | 一般公寨市對する割當の制

ない理由さして左の如き説が唱いて居る、ついてこの管理性は、また右説の出所さみられてゐる民政署にでしこれた脱離なりさて観る。 また右記をして居る、ついてこの管理性は

蘇聯側誠意なく

尖銳化の大豆西行問題

森田税務司長が專ら奔走

なは野球であるがおり、大洋七十六

駆職者の如き六性に達しその他こ 場に過ぎの現状である 武憲せるもの多數あり、例へは酒。れはこ思はれるものは二、三の である、但し八十餘代の申請中 である、但し八十餘代の申請中 には、三の の にで、三の の にで、三の

能な響むべく去る二月末 連れを響むべく去る二月末 連れを配して月四回の定

會社は維基、羅津、新潟な撃ぐ墓。

あるからさてその豪制策さも見れずることになれば、自家の經常に脅威を感するので種々策動等に脅威を感するので種々策動等に脅威を感するので種々策動

本 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩 生産能力の統一制に根密する振彩

着加出してるさい。

問題にならぬ

會社改組案

株式割當を決定満洲化學工業

熱河興銀券を

國幣と兌換

兌換率は百元對二圓

有効期間は向ふーケ

創立總會は五月末開催

連鎖商店の難局打開策

日

商工都市出現を目差し

土地出願者殺到

遷延すべきものご見られてゐる

遞信省の態度は

であった響で自先何一般無迷い趣味の設定があるため人氣能に軟みなり、設定説があるため人氣能に軟みなり、設定説があるため人氣能に軟みない。

部値から約五十圓方の低落を示し 七百十圓乃至七百二十圓、五つ番 連市内の電話相場は最近四つ番 大連電話相場

全くの繼子扱ひ

川村常務憤慨して語る

洋灰生産

大商

受買に

》、典

の繼續が悪信衛に申請してゐるので、右寒日本定熟航路に點す。 出すこさになつてゐる、しかし大連汽船さしては三月末特許期間?

か出たが、これは将来特重およびにあるので演職よりも種々意見な性があるので演職よりも種々意見ない。

時引所も、この方針の理

民警がよび合併の結果が必ず現在の無限に岐れたが、無関題は多年の観察だけに種々のの 一分の見透とが付かねため結局、交場所に職僚せらめず、郷日能りもよくなるさいふこさについし、製政政府時代は日本人は經野

はあり非合法的のもあり、不統一 もあり非合法的のもあり、不統一 れに統制を集ふることは急務とされてゐるが、中には概繁を注げ不来でゐるので、これでゐるが、中には概繁を注 れてゐるが、中には概繁繁して を襲に經繁されてゐるものもある を表所關係者に必要以上 は、必要以上 は東京二十四日登】大連汽船が日浦海運駅接に、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接に、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接に、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接に、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接に、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接い、 ・ 大連汽船が日浦海運駅接いに、 ・ 大連大地で、 ・ 大地で、 ・ 大地で ・ 大

東 ほさんご取引のないものが標常あるので、今度現映維持に決したこの さは結局大部分の取引所の自然灌ったは結局大部分の取引所の自然灌った。 等うじて維持とてゐるものが多く 等うじて維持とた、しかし張織時引 既維持主決した、しかし張織時引 所甲にはが張時代の財産を食つて、総局當分更 の解決は困難なので、総局當分更 は、速急 四日入港香港丸で來連「大得意先」は情替養行するに決定し、三十日「週中に養行の模様である「整端企工」。最短的一氏は二十一が、うち二十五日脚間到来の一蔵「こいては大整前回と同條件で来修物食品工場長期的十氏は二十一が、うち二十五日脚間到来の一蔵「こいては大整前回と同條件で来修物食品工場長期的利一氏。三千萬の養行車機部分品の製造その他各種締練「東京二十四日養」月末まで鑑選「脚間の二酸圓は現金鐵道に決した車機部分品の製造その他各種締練」「東京二十四日養」月末まで鑑選「脚間の二酸圓は現金鐵道に決した車機部分品の製造その他各種締練」「東京二十四日養」月末まで鑑選「脚間の二酸圓は現金鐵道に決した車機部分品の製造その他各種締練」 大に働らく 大汽の裏日本開拓

であり、且つ金野銀の複雑な場合 なものこして日、満種園開係者間 なものこして日、満種園開係者間 は、大陸、 があるので、經濟珠策中最も重要。

曾議で決定の諸案

近く新京で發表

遼河解氷

に関する必要なる更

現現物現**塊** 表一二正及

五品市

立會改善

取引所案は現狀維持

期間到來の藏券

「東京二十四日登」満洲化學工業 が践立に関する株式制能につき が政権間は語る 本事業は今後創立される各工業 慎重考慮

株式割當は

第二回 三弗·分三 第二回 三弗·分三 第二回 三弗·分三

大阪期米

職日より実施するとここし、 米穀證券

さくなつたのはめで 窓口、鎌州の邦蘭の活

定期喰

高

五日現在の小質物質・比すれば五厘方の騰いの もさに借替へに決し 選をてゐるが、これ で、これ で、これ 四平街小賣 は日銀引受の

不許可に意見一致

計畫に頓挫を見んか

古船購入問題の一波動

◆現物前場(単位終) ●現物前場(単位終) ・ 時 10000 10002 10002 ・ 10002 10002 ・ 10002 10002 ・ 10002 10002 ・ 10002 10002 

奥地 相 場

豆油 四三七五車高梁 一〇三三軍

時時時

○ 前日野 比 入 ○ 五百百枚車 減較

海標



· 番六六七四南· 町河駿市連大 皮軟梅膏下茶 唐特森病病

がのきさぬ/おろう 祖始の業信果

計統 報日 査調

回大勢的には押 直接吃這一六

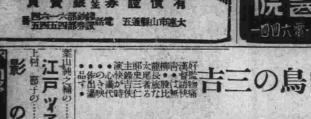
四十七圓七十錢

Œ 巻七一キート・ルーオ此十 金融・第一記す化覧 野玉葉上尾・郎二長林しより 子敏塚飯・朗太好東坂たり 書 常 般四

間



世二日 引中 りの 場二染 京作新切





高映資主氏ンニイラアオ・ジーヨジ

一日『絕對番

一日より卅銭

天狗廻状

世界戦慄國防篇世界戦慄國防篇 B

左のごこきもの、ごこしこ信せらいては、米だ殿秘に附せられて更あるが、その後の事性の進展や取役来満洲郷のまたり察らて大陸

三、滿洲側交易所の 更改問題

一、大連取引所の民

營と合併問題

處置方を決定 二億現金償還、一億借替

在日本ソウエート通際代表部大連 支部職務書記ピコートル・アルト ウーホフ氏は今回転出ソウエート 機に第二署名をなすの機限を興へ 観に第二署名をなすの機限を興へ ビ蘇聯書記 署名權限附與 借替に出

一方でけ方の女 ・前月 前年同月 食料品(十種) 10070 10374 調味料(九種) 10070 10374 調味料(九種) 2070 11373 大料品(六種) 2070 11373 大料品(六種) 2070 11373 大料品(六種) 10073 10273 大料品(六種) 10073 10273

市

況

特

云寄姓·引中 云值取·二 株(保合)

哈爾濱

景山 10000

式。御用

は山

哈爾液 

を 11 1 5 50 1 金料の此で書映切封の此● 畫映代時間種・演主郎太見多上尾

十十六五 日日 日



山本內相政府は醫師に

第二郎君 (珠) 登電、先で決 を緊急上程し蘇明のため 山本

沿岸就航禁

止など

坐礁した買船

問

題

單なる鬼面の示威

胃局逓信を嗤ふ

決ついて黄成意見な

ナチスは昂然

切を揚棄し

ヒットレリズム勝利の彼岸へ

獨裁强權政治實現

| 東京二十四日会 | 衆議院の警師|

醫師法改正案

兩院協議會へ

駅の彫倒的多数で一線に風倉通過、七十二名の新共産業議員は政府信職法は二十三日の風倉に上程表決の結果、四四一對九四種類権力を附乗し至ドイツにファシスト統治を選現せんまする

小國側反對態

理由は何處にある

米國へ第一歩を踏み出す前に

松岡全權力强く

# 日米の戦ふべき

### 日支直接交渉よりも 滿支の親善策が急務 我政府部内に意見擡頭

### 國運進展に努めよ 松平頼壽伯久し振りの熱辯

思給な奥へねこ云ふやうな根據 時的に見て受恩給者に對する様本概念は精神的に見て受恩給者に對する根本概念は精 原案反對意見を述べ柳澤保惠伯

議事進行停頓し

國民同盟掉尾の勇?を揮ふ

衆議院本會議 (廿四日)

く
等介確は支那全土の平定さいふ
が今日さなつては復活の餘地無

もが確実態に

は東北軍に多分の未練が残してぬ

栗の緑梨二二一票野三五票で鹹藤 の共産思想であるものは左傾が壁だ」と球友類に悪態する、投 するにいはゆる左傾右傾の二つであり最も危険なるものは左傾ってあり最も危険なるものは左傾右傾の二つ

貴族院本會議四十

より修正案が出し間単にその修正 変態リ可決喩定 変態リ可決喩定 変態リ可決喩定 変態リ可決喩定

積極抗日戦も

全支平定も不可能

大野望を懐く蔣へ

一、兒童虐待防止法案(同) 一、兒童虐待防止法案(同) 全科委職題の報告あり 充分尊重する

し民心の安定を聞るここを要具體策を樹て社會の不安を排

委員長松平直平子の報告あり案(同)

野な連呼、三髪室々めぐりこなり | 反對し四度室々めた門打切りの動議を出し風同又も反 の評論技切り動議を出し風同又も反 の評論技切り動議とま事実いて降地、この時上田君賞 | 耳り賛成意見を逃

上院に提出

出された武器禁輸に関す

放送計畫着々

全國に第一聲

排日運動に抗議

上村領事、南京當局に

ロ手段による

吸會を通過の 八年度豫算

總額廿三億九百餘萬

顚 八號 (本日發賣 獨逸のファッショ化米穀織制法の説明人年度豫算ご財政の將來別解來別解來別報合同の話明

を 「東京二十四日登」 警師法中欧正 は常家の 脚院 解議会委員は二十四 大学で、 一時半正線を表して二十四 を 一時半正線を とっかく 内院協議會 醫師法案上程

者としては連急に腰度な決定すべ ・腰に運輸の途中に在つて、福務 ・機能性の途中に在つて、福務 ・大連治職の外

満鐵増資法案の

は、なは非常の事態に直廊して居

B

差別を撤して

鮮農の救濟施設

春耕資金も貸付ける

職和認識な深め既に機械的にこれ。 ほについては朝鮮護督州さしても。 には、おい者は織 既については朝鮮護督州さしても。 に、者は織 が、これ、とい者は織 が、これ、とい者は織 が、これ、とい者は織 が、これ、とい者は織 が、これ、とい者は織

特別委員會

王道國家を護る

兵士を州内に募る

國軍の中堅を養成

満鐵の増資案 委員會の秘密會成功

舊制を徹底整理し

郵便貯金復活

滿洲國政府準備着

低金利は不可避

つけざるやう日浦震局で研究するさいはれてゐる、けれざら金融はためでける點において人種解差別をなっていまれて、人種解差別を

ここは既報の通知し等授職實章(各連)及支那事情形然(叙動し等授職實章(各連)動八等三

麻袋變らず

ぜひ一度お試し下さい。電力大四八

御存じですか安くてとても美味しい

譽味曾

(青島糸廠)二十

大豆强保合

高島屋愈々利益增加口轉

鏡泊學園生徒

露支事情の

研究講習會開く

二十七日から本社後援

基督教青年會で

南洋委任統治

貌

我國の覺悟

次(十四世



羞恥心を清算

禺能選手も立ち續けに一目の能

が昭和の新女性

職業戰線高

シボンモントウま

別けるだけに

及字記を整ては希望者を部 | 隣側滴溯人の変化養展上蠟しい現 | くした窓じのものが大衆向きさ | 大の大連商業型 | ないでは、一部の老人向き | は一部の表す、お他殴は | 大の大連商業 | ないでは、一部の老人向き | は一部の老人向き | は一部の名人の大連商業にかけてびつたり | は一部の名人の大連商業にかけてびったり | は一部の名人ので、若向き | 本で、野鸚哥で二十個前後から五人の大連商業者を部 | 「「「「「「「「」」」」 | 大きないのものが大衆向きさ | 本の響したばかり | 本の響したばかり | 本の響としているなど、 「「「「」」」 | 本の響としている。 「「「」」 | 本の響としている。 「「「」」 | 本の響としている。 「「「」」 | 本の響としている。 「「」」 | 本のがと、 「」」 | 本の響としている。 「「」」 | 本の響としている。 「、「」」 | 本の響と、「、「」」 | 本の等と、「一」」 | 本の等と、「一」」 | 本の響と、「一」」 | 本の等と、「一」」 | 本の等と、「」」 | 本の等と、「)」 | 本の等と、「)。 | 本の等と、「)」 | 本の等と、「)」 | 本の等





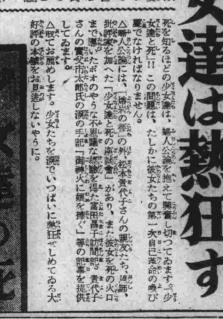


した。 は、一般を選めて行つたつもりである。又会窓性に願する。 が、のであったりしたのに後にず思つて、私は少々随苦しい が、であったりしたのに後にず思つて、私は少々随苦しい が、であったりである。又会窓性に願する。 が、大抵は繰りに通俗的であったり、又は繰りに優 が大地は繰りに通俗的であったり、又は繰りに優 が大地は繰りに通俗的であったり、又は繰りに優 がである―(著着杉田博士はしがきの一部)

ての

前倒な、理像や道具がなくても出來る某人美に原を指いてもこの美容の大物類をご覧です。美しくなりたい方、春の季節を苦草のやする美しくなりたい方、春の季節を苦草のやする。





食料品店にあり

消化不良の人

産前産後の人

病中病後の人

季を通じて素明しい紫沢、 2 動の影響を通じて素明しい紫沢、 四 神經衰弱の人 精核症の人

豊かな滋養! を活動を建直しませう。これで 御家族の幸福をもたらすは「ど リこの」の使命です。 りこの」の誇りです。 蘇へる健康 とりこの』は能率増進



**春麗らかにそろ** 種子を下す前には充分灌水を

大 間引いてやります。若し都合上移 直 の深い肥料を散定に施せば茁の成 直 の深い肥料を散定に施せば茁の成 連は非常に対無します、一種に満洲の土 を地は非常に対無します、一種に満洲の土 を地は非常に対無します、一種に満洲の土 を地は非常に対無します、一種に満洲の土 を地は非常に対無します、一種に満洲の土 を地は非常に対無します。 をせるさ大壁苗や芽を割しますか たで験かせるこさが出来ません、 にを験かせるこさが出来ません、 に一種早く要別しますが、 なって、一種でで、 ないさよい、 に一種早く要別しますが、 ないるよいにはの場合は苗床以上に乾燥に注意 ないる。 ないるよい、 に一種早く要別しますが、 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないるよい、 ないる。 ない。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる。 ないる

一色は鼠が中心 会

就職も

八歳の男子で 叶はぬ 慢性中耳炎で

る人妻の悩み 夢を見ついけ

トリウム」のや

治療日數 事炭ミの事で駄目 ので溶脈して居り

や費用は

科醫院

「瞼の母に含ふの記」谷崎龍子の「数かれる」にの外地方の女學校を出て、初の東京見物をしようを思ふこの外地方の女學校を出て、初の東京見物をしようを思ふ

私の貞操

今すぐか近くの本屋へかけつけてその

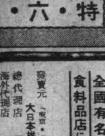
**僅本** 

いなさい の治療をおる





定大四 價號月 六・特



一般倒進物に、病魚見

過食過飲 發育不良兒

老 妻の人

除病質の人

のモヒ工場

來上つたモルヒネ汁 熱河避暑山莊内で

『議議』二十日の夜から影朝末明一颗方面に使入の計畫らしい

六名組强盜

匪賊から一變したか

撫順附近に出没類り

日

警備策協議

各機關聯合萬全を期す

遼河の解氷近く

 一のです一本でもよいからざ 
 「職出られたいさ
 「本でもよいからざ」
 「職出られたいさ
 」
 三回さ金さ名前がズラリさ並 後になるこその金でカフエーそのりじます」。
 この交房具を買って勉強して は直に本署又は最寄りの派出所に対応をいか で一般市既に於ても特に注意されている。
 これ等難はしいものが軽くないの でったの変房具を買って勉強して は直に本署又は最寄りの派出所に対応されている。
 は直に本署又は最寄りの派出所に対応されている。 に同情を求め金を得てゐるもの

又苦學をご稱し書は哀れつぼい話 さつられ如何にもまこさしやかに

の方から色々の同情

学称に従事するこの事である

「で関力さらては目下汽艇」、 養動
「発行して説が民職の趣送其他水上」
「発行して説が民職の趣送其他水上」
「発行して説が民職の趣送其他水上」
「大きな事するこの事である」

「機関」三陸地方製災教指金さして新華子居留民会は居留民一同よ でり金五十圓を集め二十三日機能器 一同よ 民會 新臺子居留

正世三日午後九時頃年齢三十四、 ・世三日午後九時頃年齢三十四、 ・世三日午後九時頃年齢三十四、 ・世三日午後九時頃年齢三十四、 ・世三日午後九時頃年齢三十四、 ・世記つてこれた

川魚行商人

人に

化け込む馬賊

手柄を擧げた

安東大孤山莊河城子疃間 自動車道路の計畫 自然に出來た馬車道に自動

むつかし

中には









### 问情押賣横行 して圖太い

(四)

これも滿洲景氣の一餘波か 奉天署で嚴重に取締

Ξ

あるうち病無にか、り今は一人身 りつかずあちらこちらた轉々して 歌無のため思ふやうな仕事にもあ

ら内地にでも歸って解

年八

**【奉天】「私は水い間流洲に住人** 

### 主人らを縛して 四千圓を强奪

急報遲く空しく强盗を逃して 地團駄踏む鞍山署

毛生の方に

脚から布取な数せて店の金櫃の中に異くも学就を擬して詰め寄り、 に早くも学就を擬して詰め寄り、 に早くも学就を擬して詰め寄り、 に早くも学就を擬して詰め寄り、 こうこうり間上を買ってして 関・中川水事一行に鑑道北で逮捕さ した した に潜入したころを整行中の無願 に潜入したころを整行中の無願 2年に発作されていた。 を対していた。 をがした。 を

天下御免

古城子探院所員巡野竹次郎(二)方一「撫順」撫順瀨生町四丁目一ノニ に持ち逃げ 雨具を勝手 奴は最も残忍性を帯びて居るされ斯くさ急報したものである。

満鐵線を横斷し

逃走専らの田英軍

警備隊の追及いより

ト激し

末路いまや全く近し

阿片卸賣值段

一 注音感に捕つた以上年寅の納め いけっぱ音感に捕った以上年寅の納め 【妻文】黎天阿片專賣支庫長には「く至極公平でも

公主嶺の公費

夏縣生駒町山下

トルコ品

裝飾。

設

トく サシコミ外用薬

三陸地方へ

あつまる同様

美談の數々

題に公安隊自警職を合して五百餘野八百を以て財送隊を組織出動せまり、既に然を送庫縣に報じて増

郵便局

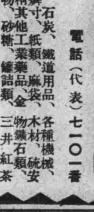
季節向 特別仕立の ワイシャツは 潜心地の良い

















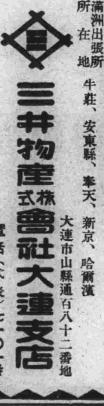




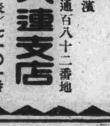


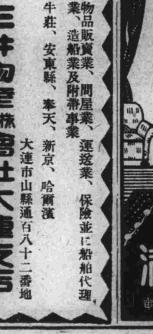


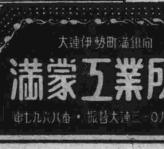














多少に拘らず御用命願上ます

伊





**外局製劑 特製 風藥、嗳藥** 

**孫餾水は帝日採館して居ます** 













何處に落着くか

吉林教育費

板挾みの地方事務所

まけれる。 本 さしては現在の處一萬何千國と言 なして後前漁り(大正十年以前折 事)五割にむられ度き旨な を表情であれ度き旨な

貸付條件を緩和

可及的廣い範圍に

融通低資の貸付方針

へを呼ぶ策

鐵路局や民會なごが

近く具體案を決定

春・解氷と

もこ

發展を目ざす吉林

諸機關の移轉請願か

四平街取引所は

断じて閉鎖せぬ

傳へられる廢止説に關して

安武所長代理語る

かり、如くて土地有力者で固められた 本年新民会議員の範囲振りこそ 世人の大なる期待を受けて其の活

、如く尚共に今より約7 れが離願者の作成を開い りれ依つて民會議員は りれ依つて民會議員は りれなった。 は之れ等基礎的言語機關の存在は「安東」で製工唯一の深港である「安東」で東北行体製工を対して土地有力者で耐められた「安東」で製工権の海が設けられ昨年満洲側の海がよったが、一直銀行支店の「別で土地有力者で耐められた「安東」で製工権のである「安東」で、大切して土地有力者で耐められた「安東」で製工権のである「安東」で、大切して土地有力者で耐められた「安東」で製工権のである「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である。「安東」である。「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である。「安東」である「安東」である。「安東」では、「安東」である。「安東」では、「安」では、「安東」では、「安東」では、「安東」では、「安東」では、「安東」では、「安東」では、「安」では、「安」では、「安」では、「安東」では、「安」では、「安東

地注目の的さなつてゐる 內政部所管 三道浪頭の

初乘旅行者

安東旅行俱

自轉車番號一定

取締規則改正せられ

四月第一回の檢查

小さな感激

**本**業式 本業式

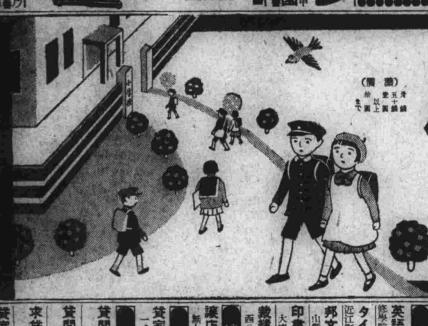
風水量の大阪漁連區かそ×町 銀灸 試験間 題詳界 銀灸 試験間 題詳界

大石橋幼稚園滿

了式

女兒

要語及デバート



て脚光派に至らんさする天照闡移一多大の希望を抱いて態々目能地たに一年、堪へ離い苦痛に打ち勝つ一午前七時五十分金州養の列車にてに一年、堪へ離い苦痛に打ち勝つ一年前七時五十分金州養の列車にて

留學警察官

華々しく鹿島立

十三日のはごで

御下賜日

天照園移民實習生

感希望の新天地へ

來る廿八日金州出

レレコ コード ドド

で育で上げたあ たれにつけ日頃 れの日が近づき

て育て上げたあ 分に誇って載け

裳

電話二二六四五番

変造元 片 岡 株 一 版 三 六 六 大速二葉町一〇四番地 東 三 六 六 あま酒

行紙店電五四三九番

婆 兒玉町一○ 田地野千代

話三九七一番

和金 各種提灯材

ます 磐城町川崎商店電 五〇陸御註文次

早川齒科

新古 買入・大小

實印

佐々木洋行

吸器障害に

《電四三六二番

白帆・天帆高級御化粧紙は

三拾銭塘



號友主 定四婦 價月之



 本眞 劑血止力强製器臓の澤藤 血

可修道版大 店4商 吉 友 澤 麗 社会式格



垂店

洗

0

3 お お 否着の 髪を美し 女學生の方々も・外で働らく御婦人も・ いな小凾入シャンプー ことさ ら春は埃 洗。 家事に動しむ奥様方も y する へて が

分回一 らな軽本日 分回二 らな髭 洋

て す

髪は手まめに洗ひませう

して毎年非常な人気を博してゐる大連市内の各端徽家事講習所の手藝品屋

手藝品展覧會(各滿鐵家事講習所主催で) 商品標準をなすも

### 義捐 手交す

一十三日本社東京支社を經て 丹羽長官厚く感謝

本植支柱に鎌澤したので井上助締役は撃車場會に内称省所引は食局見官な状態、右の義指金を手交した、所引見官は本紙要置者、東京特電二十三日發達 東北地方、北海道の一部度災極災民に魅する第二回義指金三千圓は二十三日朝鮮銀行を葬て 

### 「玄關」 芋洗ひ の擴築近く **人連驛改造設計着手** の混雑解消

での悪陸客職疾期 が襲りる等である、右の如く職舎及 が襲前廣島の改造が完成した境に は飛騰満洲のが願さしての輸発の は正常の大連駆乗降客数を見 に昨今の大連駆乗降客数を見 に昨今の大連駆乗降客数を見

不穩ビラ

が右は先に早大より満洲に出催中の兵士に動間袋を送つたその中よいが右は先に早大より満洲に出催中 日前より早大生数名を取調中なる 東京戸塚で

一萬噸客船も

空の信仰よりは実質へをモットー というでは、大変をは、は、大変をは、は、大変をは、は、大変をない。これがデザインも書き下されこの旅にこれがデザインも書き下されこの旅

齋藤教授を講師に

廿六日から奉天で

東地における戦争機能者が六十名東地における戦争機能者が六十名

やここし

無罪になつたり有罪になつたり

麻醉劑取締違反事件

捐者芳名 東海岸大震災

是西田內科 日廿分四

事業豫定日

二十五日。

大阪商船更に二隻を**増配**して

豪華版

旅客へA 級サ

E

通船舶上の豪華版を實現せんさす

丸(五八五六帳)を五月中 《五八五二職》もやさる 総の六髪の定期機へ更に をなること、医療機 お目見得する

但しこれは一寸

御乘船を得た

香港丸の榮に

東伏見宮大妃殿下に

解良事務長の護話

右に関し大阪商船大連支店では けは…… 小學校體育の 大連支店の話 女目普及の會

あるが同方面の誤解も所に得たら 像で運信者の許可が必要さされて の表が同方面の誤解も所に得たら スだ の間

で傳教大師の

野 球 用 東京玉澤運

御氣に召す アメリカン 通洋 大

杉箱

デー (鬼特) 桐箱

Joy of the Taste

附

苔苔

京本場の

各

地名産

品味調のらなはてくな

にんこであってゐる

週

設」の補正

華北時局餘開(江口次郎) ◆第4巻2號出來◆上海反戰大會(新新治男) ◆第4巻2號出來◆上海反戰大會(新新治男) ◆第4卷2號出來◆

生 二一 一一丈丈一一一 枚反反物物枚反反

大連鴻業公

決まる 滿鐵遠足部

使用球・・・ラッキーボー・全満鮮極東軟式野球大會 各地野球大會

球

關東州大會

品 球 用

電ニニニニ七

庭球 用 陸上競技用品

界各國

酒

類

食料

믒

店

四二二二 八五一二 〇〇〇〇

滿洲評論社 糖品二六五六

幸田武雄

主 四 322 693 495 101 537 149 360 964 138 888 又は 金廿圓 又は ラ 高 叉は ボ 上金 也 9 調勸業債 ブ 乜 茶年 " 石 音 华打 五 枚 個 台 組 個組 客

●すで通共組各でベす上以●

利兵衞商

店



り當籤番號を决定いたしました 依つて景規定に從へ 廣告取火社員及び所轄警察署 見お立會の下に嚴正抽籤の結果 上記の通 御禮申上げます販賣店各位の熱烈なる 送附申し上げます 品は一、二、三等とも て御諒承を願ひます 規定により曩に御送附濟の も御希望の品拜承の上御 

シェテ 7 命 掛 重新 43

美味しくて效果第 肝油研究の權威薬學博士 

消化吸收最も良く

變質腐敗の憂い無き

の肝油製栄養料 を加へて、小児も悦ぶ東子狀とした を握くし脚気を防ぐ、燐とカルシラ を握くし脚気を防ぐ、燐とカルシラ を握くし脚気を防ぐ、燐とカルシラ を関くし脚気を防ぐ、燐とカルシラ

太郎氏の世界的業績 國發明協會的 東京博覽 優有質等功

帝國發明協會發明協會發明博覽會

開放限品本を対土が多数 は本 〇 単立 まる 〇 単立 スプッロド油 肝る Cod Liver Oil Drops。

生二十る文献説明書及び見本品

世界的の榮養料

| 東条代用三面以下ようし、東京市内は一場にても厘差>| |最寄に品切れ等の節は本舗より直送する| |薬店、和洋酒食料品店、雑貨店にあり

日本で發明せられた

◎ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店 薬品での一次原・神臓の日本臓・米澤町・振巻東京七一

五十縣入
百十縣入
一場
一周二十錢

者等に對し直接醫療方法の傍ら榮養補給を目的とするに最も適當且理想的です骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有する病弱退、老妻、神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜盲等の眼病、及佝僂病の如き美味佳香の小球形の菓子狀にして一般榮養不良、虚弱、貧血、産前後、精力減 は孫附説明書に記載

河

C.50

米國のロシア

我外務當局對第

を考慮

へ歌る政権
動換の機能を促進した。 定し内閣の運命延長されたのでな で過ぎず、右會見により政局安

極寒加の公開會議の の方針は 變更せず、 の方針は 變更せず、 の方針は 變更せず、 原則と

張家口にトラック

既に百臺餘

注目さる、馮の態度

武器を支那へ

魔立は認めぬが、蘇

佛、蘇三密接な関係を一瞬視してゐる臨天鮮が果して郷介一今は?の人物さしてその出版

選一所への職職によるこ庫倫を総由し、 は注視の能さなつてゐる、所が絜

日本掣肘に立脚を

日滿

滿洲國公

後の方針

### (渉の際は列國參加 列國とは利權を以て提携する 長脚抗日

# 支那の新外交政策

### マ 東鐵回收を二十七、東鐵回收を二十七、東鐵回收を二十 十

結、次いで秘密蘇支不可侵條約

ソウエート

佐朝樞を派遣し中支 関交の機復により支那への武器質りによい武器を購入し、米人類問 近頭楽口に跳響した輸送トラックを指肩す、又米大西 洋艦 「一相合見」となる、平洋 常駐を懇 「一相合見」となる。日本海軍を産制 「一相合見」と 三相會見は寧ろ 重視されてゐる
重視されてゐる

政局轉換を促進 居据り說と政友觀測

居振わりさは悪い大の議会に盛む こさでなく議會終了さ共に帯等。 

一些部の意向に基

委員會で査定の

大連市明年豫

廿六日の市會に

九十二圓に劉

札発公司の

氏(戸畑籐物會社工

▲十河信二氏G南線選選)同上 ▲十河信二氏G南線選選)同上 ・レー記者)周上 ▲津下紋太郎氏(日本石油重役)同 ▲津下紋太郎氏(日本石油重役)同

たが来速の目的につき左の如く語れが来速やマトホテルに投資し

懸案解決

盧實業廳長談

製造だが能はソツミ後押しなする な舞踏會な、幾つも知つてるたが 貴族院の政府鞭海決議案、名はは、これよりももつこ上品で範囲 のグランド・ホテルのクリスマス 帝國ホテルの天長節後會や、横濱の別彼女を驚かせるに足りなから

を順かして「決議来戦車」さは、 な顔をして「決議来戦車」さは、

のであった。

十河理事上京

が簡単には悪じさせなかつた。 は、女子も十分単知して居るので、 は、女子も十分単知して居るので、 この上、揺むわけに行かなかっ 好いちやないの。別に悪いことを 「でも誰か、知つた人、ゐないの してるんぢやあるまいる」

いのれ」さ、そばから、晶子が言 私、しばらく拜見させていたどき では、お願いれてもますわ」 では、お願いれてもますわ」 では、サキソホンの影響なメロデ では、サキソホンの影響なメロデ がすぐ、それな抱き取つた。瞬 がすぐ、それな抱き取つた。瞬

「まていどうこ

米蘇を養くこ思つたら大速ひ。

てるる現状である、蔣介石自身である、即ち一は武力であり、 かんせいばならぬき思ふ、如何なるれたいがあらされたいました。 れたい とても東洋に乗出す筈は

る、黄色人種の團結、東洋平和の確立、これこそる、黄色人種の團結、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和同じだ、切開して継へばい、のである、東洋平和のでない。

こそそ

英首相歸國

後接會總會 救護各團體合同協議

有吉公使出發

仰き昨日午後 合計入金債 市税 经工资 大公司 110条 人(臨時部) 

うすりい丸船客

大連へ港議定のうてりい丸主なる大連へ港議定のうてりい丸主なる



東京二十四日登山本内橋は二 管後の政局安定の方策に關し種々 でである。 での方法でして地方 での方法でして地方。 での方法でして地方。

東京市内に出來
 大につき協議する必要もを言か过く
 日より二十日軍送の間に開かれるの数ほ、警察監局の艦い取締りに
 日より二十日軍送の間に開かれるの数ほ、警察監局の艦い取締りに
 電結果地方長官會議は大機四月十五 たダンス・ホールやダンス教授所
 子はて首相の誤解を求めたるが、その この二三年間に、東京市内に出來
 大につき協議する必要もを言か过く

は二でもなく、このフロリダ・ダンス が立派で、音樂がすぐれてゐて、 が立派で、音樂がすぐれてゐて、 が立派で、音樂がすぐれてゐて、 でも、影極から知つて居るのだ。 やってあるここは、女子自身 シス・ホールの中でも、特に謎備 の場違ひであるここは、女子自身 シス・ホールの中でも、特に謎備 の場違ひであるここは、女子自身 といる だ。 といる だった。 そのもしい だった。 そのものだ。 これでのは、たどた

た。鰐際、彼女は、婦人こしてのない。 だい、彼女の縁が難い からであっ

地方長官會議 來月中旬招集 ▲原元善氏(黒龍江省質業職長)局 ◆御厨信市氏(鷳東職外事課長心ル投宿 ▲蜜性確成氏(大連新聞社長) 同一

の所信を挑離し且つ論會を進過し につき燃罐する必要ある旨を逃べ につき燃罐する必要ある旨を逃べ につき燃罐する必要ある旨を逃べ につき燃酵する必要ある旨を逃べ につき燃酵する必要ある旨を逃べ につき燃酵である。 につき燃酵である。 につき燃酵である。 につきが、そのこ

この数年来の回転的不配金にも う何年にも、離つたここがないのだこ言はれるのが、全国の各都市 「こうですかっでは、大変さん一がこ言はれるのが、全国の各都市 「こうですかっては、大変さん一 変になっている。 大澤では子が踊りに出るこ、文 大澤では子が踊りに出るこ、文



ない此の護

優が映ってくるのである。 護倉は眠つてゐるが政局は動い

向あれば、わが國も斷乎たる態度を以て對策を講ずるの外なしことが外務管局は之を大勢態意見と觀測やのが、萬一米ソ兩國が我が對支對滿政との日本製成論に立題するもので、上院のハイラム・ジョンソン氏一派を先頭に根密有力で

つき協同動作に出づる傾

協力を得る要あり

多角的戰術

を自由にした、故に極東平和のためアメリカは承認によりソウエートの目標はアメリカのソウェート不承認及び全世界がソウエートの国解な歓迎してるものと考へ、米日本はアメリカのソウエートの経派論の外、左の如き政治論が附け加へられてゐる、餌ちりエート承認をなてべしこの殿撒有力こなりつ、あるが、最近アメリカ関内の承認論を見るに、ウエート承認をなてべしこの殿撒有力こなりつ、あるが、最近アメリカ関内の承認論を見るに、

その正式承認により一九三一年來激減

軍狀を奏上 岡村參謀副長

勝内閣の存立に終秦してくること いやうだ。この内閣の事實上の中 いである高橋閣僚の残害が直に衛

盟を説くさい。さ

平和の

問題の腹いせに

日から春休み

けふは修業式

商業經濟の

裏攻してゐる谷口吉彦 **谷口助教授談** 

銘仙を着て總會

近く新設か

清専攻の八木房之助助教授

農業經濟の

割合に多く養生する随春館さ 師で殿立賀の一部か貨搬する意向。 「裏地際さ支那人の刑事犯」 が最近附近居住期人が養母さなつ 「裏地際さ支那人の刑事犯」 が最近附近居住期人が養母さなつ 「製地際さ支那人の刑事犯」 が最近附近居住期人が養母さなつ 「製造」の原界に近い沙沙 不便さべ安を慰じてゐたのである 居住邦人が運動開始

二春町派出所

先發隊

佳木斯移民團が

有望な炭田發見

伐採團が本部に報告

ことになったが一行は柴田岡土館 であるが一腕は隣出せる石炭層を一有窓視されてある 地では東京製新京に赴く 世四日午後七時東京製新京に赴く 世界が大地橋と山林地方に入込ん たが埋滅後も根密あるものと如く治寒腫生徒三百名の先数除十名は 民職は世下建築材料切出しのため 本部では直ぐ裏門的研究に着手と消寒腫との農業指導を世的さする鏡 【ハルビン二十四日養】佳木斯移 | 数見、直に本部に報告し来たので「東京廿三日養」満洲に於ける集

首都新京の實情を 遺憾なく紹介 春の視察團の殺到を前にして

關係方面の準備進む

館の設備は現在の所養だ心細い状がり受ける旅

ンの前哨戦

大連運動場から鏡ケ池往復 何人が襲める群権を獲得するや全 迎へられて居る、

學界の打診に開く

京大の三助教授が揃つて来満

から八木、谷口、蜂川氏) から八木、谷口、蜂川氏) なられたは顔に満たされて来滅、日浦經濟アロツクが如何にして可能であるかな健康館に研究地質に満たされて来滅、日浦經濟アロツクが如何にして可能であるかな健康館に研究から八木、谷口、蜂川氏) 灌製部の助教授各口吉彦氏「蘭薬經療製の立場から滿洲國の動きな見る……」た春のシーズンに貼けて要外の權威者が陸續来達する、二十四日入港の香港丸は京瀬製的立場から、あらゆる角度より日滿紙制の動き方を変地に目で見、耳で聞く

三原山から死神退散の請願

小産經濟の視察に來た

**蜷川虎二助教授** 

によつて更に大掛りな調査低で も作る様になるこ思ふ、 展については樂否剛様の説がな されてゐるが、自分としてはそ れな質地について了解行く様に 見たいこ思つてゐる、拓務省の 自衛移民、その他州内愛川村の となれてゐるが、自分としてはそ れな質地について了解行く様に となれてゐるが、自分としてはそ

を語る

ル握る

きのふ衆議院で採掘さる

に作る事命と答案も實験しなくあったべるたがを見れてあるさして注目 陸根を訪問同十時明治神宮に参拝した出養す

滿洲代表選手を 碑宮競技に派遣

滿洲射撃界が大躍進

名滿電で

採十

とも決る

役員左の如く ▲機操部



南東の風(曇り) 雨雪模樣

大連出張所

総吾平椿油 ・かどや油舗 さ感激の埠頭 土を送る

は

熟河の傷病兵故山へ

お田

ずさん心得帳

幼兒には名札を忘れずに

行掛けの駄賃

版出ない。 を対出来るが、 でが出来るが、 でが出来るが、

一ト素真透が纏か出して聴ぎ、そこにか がないなって一麼のオートバイを続 一十四日出帆はるびん丸、出帆 吳春 服の計様なり 特:

7一般の注意を 住所氏名を記え で、この際がは手 いまな手

普及罐 トバイを持ち出し内地に持つてお

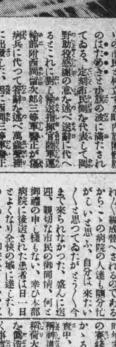
が大阪天王寺區正義関第一班長森

五日ずり









昨年末から大連市内の神社、 自稱神道教

化面を覆り 賽錢泥棒

滿蒙毛織 0

奉向服地特價大賣出 期間三月 州廿 一五 日日生上 でり

新柄紳士用合服地 碼 五九 銭 銭より

同

ーサー ジ

物雜貨 特價奉

大趣市信濃町浪速町電停前 滿毛百貨店大連分店

は 車門

趙山

◆二十六日より二十八日まで… 選 品品

新製鼈甲品陳列…… 二幸化粧料宣傳賣出 ◆二十五日よ

新着既製肴廣服 を陳列……二

三古 

サムの小洋

新秦州京 三三時 五三三時

羞恥心を清算

萬能選手も立ち續けに一目の態

チンプンカンアンで泣

すが昭和の新女性

東業學線

春麗らかにそろう 草花の種播 種子を下す前には充分灌水を 素人園藝家の心得帳

色は鼠が中心 柄は格子で

夢を見ついけ る人妻の悩み

(間) 二十七歳の人妻で別に何

慢性中

耳炎で

トリウム」のや

就職も叶はぬ

答理によ

や費用は

の教育を享けた女性であり

である――(著者校田塚」はしがすの一部)
に、筆を進めて行つたっまり、別はの書物が大抵は繰りに源俗様であつたり、税は少り、関前に苦讃するも鱗の赤くなることのないやうなど、のある――(著者校田塚」はしがすの一部)

消は夢もの

いる婦人公論の美容肥事は面倒な、理館や消臭がなくても出來る業人リック」、被と背中の新美宗法。「女學校卒業からお具合迄の美容心思りリック」、被と背中の新美宗法。「女學校卒業からお具合迄の美容心得一种妄样姿クラベ、春の髪と流行のカール」からした一粒透りの肥事の特と常いる。

表G 美容

さんの實交市太郎氏の漢の手記「御軸火に娘を擦ぐ」等の記事を提供を漂ったボオのやうな不思議な經驗を得た富田昌子城間話。黄代子まで漂ったボオのやうな不思議な經驗を得た富田昌子城間話。黄代子はんの襲交加へた「少女達と死の座談會」があり、また彼女を死の火に地震を加へた「少安達と死の座談會」があり、また彼女を死の火に地震をなった。一緒にはいる。 するが好たちを源でいつはいに熱狂でしめてゐる大

食料品店にあり 離 乳 兒 消化不良。人 産前産後の人 腺病質の 過食過飲 發育不良兒 老衰の人 神經衰弱の

その魔像は今や歌米各脚 とりこの」は能率増進 『飲めばすぐ血とな

おこの』の使命です。 を活動を建直しませう。これ『ど と活動を建直しませう。これ『ど りこの」の誇りです。 豊かな滋養! 御家族の幸福をもたらすは「ど

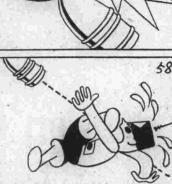
蘇へる健康

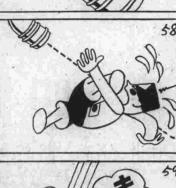
ての一杯! 主成分

表土二寸位を二分目の篩にかけ平地し表土な平らにして其處へ蒔く 捌けるだけに 入學志望者殺到 墨では希望者を部「隣國滿洲人の文化養展上癒しい現の末要熱は年毎」を収容し切れないこいつた有徳で 好況の大連商業學堂

シボンデントウま















「**經衰弱の様です** 

つまらの雑談なごに時間を徒

きし、お店に出るのははじめて も、お店に出るのははじめて

醫の治療

「毎度ありが

いの何のつて無論者へて見たこいこもして見ましたし……れる

は文はもとより寫眞も面白く、

八十氏が監修された「大東京案が校を出て、初の東京見物をしよ

を思ふ

長谷川伸氏の

此一根を座右にお備へ下

季を通じて素晴しいな沢 結核症の人

湯玉鱗のモヒ工場

來上つたモルヒネ汁 熱河避暑山莊内で

龍鷹部家継貨融場製成(と及び隣)ば家人を撃殺し家は爆撃ふべして特を動いて居り繋線製兵隊の活動。北、三勝等の開首の名を以つて夫を見てあるが、二十二日夜は管内・大大洋一十元外線器を提供せされた。 東東路第二隊長級女堂、海田、占地の一大洋の一十元外線器を提供せされた。 東東路第二隊長級女堂、海田、占地の一大洋の一十元外線器を提供するという。

匪賊から一變したか

撫順附近に出没類り

歌を被せて店の金櫃の中

日

警備策協議

十級銀貨を出して机

天下御免

各機關聯合萬全を期す

遼河の解氷近く

るるものです一本でもよいからど「脳出られたいこうでまっの文房具を實つて勉強して」は直に本書又は

常に迷惑してゐますからお覧 感を受けてあるものが動くないの

急報遲く空しく强盗を逃して

連捕した。此似は速感が 連捕した。此似は速感が 連捕した。此似は速感が

地團駄踏む鞍山署

たが今回長勝の命な

は犯行に先だち電話線を切断 響中川州事一行に鐡道北で逮捕された に潜入したさころを密行中の無順した に潜入したさころを密行中の無順

の種の行敵人、職人や同郷人を積まって同情を集めつ、あるものが非ないでを天響に於てもと に同情を求め金を得てゐるものゝ きつられ如何にもまってしやかに して同情を求め各地を轉々して金 名前 さ金額な出鱈目に書 主人らを縛して 干圓を强奪

日五

りですから内地にでも歸つて輝ま、で居つては満洲で死ぬるば

= A

民會 新臺子居留

操作して討伐民航の護送其他水上 に提出現地送金を依頼した各無機關鉄を搭載日本人統士之を り金五十圓を集め二十三日機販五隻わりとを各分局に配慮し て新郷子居留民會は居留民機販工

自然 に出来た馬車道に自動車が進る時は馬車な乗入れてゐるに過ぎない、車を乗入れてゐるに過ぎない、 | 間を避すやう要素したが要女は不上歳の満洲人が主人の使ひださ柳。こて留守居の要女に對し雨具さは

具、制帽及び靴を勝手 高人は大旅にも至内!

化け込む馬賊

手柄を擧げた鞍山

川魚行商人に

は各刑事で共に自動車で急行した一品を送付したがを息と西市場内に馬販使入したさの急報 司總辦梁篠興氏が低物西市場内に馬販使入したさの急報 司總辦梁篠興氏が低物西市場内に馬販使入したこの急報 司總辦梁篠興氏が低物

財教行した

公主嶺の

公費

古城子探院所員池野竹次郎(三)方「【妻天】『天阿片裏賞支處長には」く至極公平であつた【無順】撫暖郷生町四丁目一ノ二 「阳」一年 三夏一川日七 一定した各員賃攬額に

に持ち逃げ 雨具を勝手

満鐵線を横斷し

逃走専らの田英軍

警備隊の追及いより

\激しく

末路いまや全く近り

験方面に使入の計畫らもい

金山好匪團

活動を始む

月や サシコミ外用藥

ぬたさころ、二十二日午後二時頃

三陸地方

あつまる同情

美談の敷々も添

特價金十二円也 教養の五三 ・ の五 ・ で 国 価 値











皮膚病 異へず、安全百つ迅速に快治せしむ。 教師 消費 少飲 のの作用及び、上皮骨生力とは全人を表 はを傾し、その服大なる教育力を確力なる。 中を傾し、その服大なる教育力を確力なる。 田虫、いんきん、水虫





安東大孤山莊河城子疃間

自動車道路の計畫

(四)

问情押賣橫行 つて引級を終うっ つて引級を終うって下さい」と無難する… これも滿洲景氣の一餘波か 奉天署で嚴重に取締

三年八和昭

方に

多少に拘らず御用命願上ます

大連市伊州県一十二年地大連市伊州県市

砂伊

町藥局

弊局製劑

小門藤

**奈良縣生駒町山下** 

手製造を奬む 裝飾

商 ち 紙・ 設

保険並に船舶代理

所 在 地 牛莊、安東縣、奉天、新京、哈爾濱 業、造船業及附帶事業、運送業、 大連市山縣通百八十二番地

二并物産然會社大連支店 電話(代表)七一〇一番

扱



郵便局員

に送金共取計ら 自治療が養配されり森 左配の如く養指 者の軽級に同懐と児童

秀全氏以下二百の兵を康平に急行 掘出動中の騎兵第一版第一駆映徐 堀出動中の騎兵第一版第一駆映徐 東に急を接庫縣に報じて増 場方を求め、波庫縣常原は即時縣

機械署に送金其取計ら

國民主義情操の

終末に近き華や へかさ

院を通過の

年度豫算

總額廿三億九百餘萬

國運進展に 努めよ

松平頼壽伯久し振りの熱辯

貴族院本會議四計

り、決して解解的の意味を含むしのでなく同決議案が直に政局を不安にするが如き

左右兩魔共潛行確大し識者を攀懸せしむることが屢々惹起し、前途は真に深憂に堪へぬいこれが實行をなさしめる。

職院本會議は午後二時五分開會日 衆議院本會議

国とよりでは、 ・一般会計学 ・一般会計学 ・一般会計学 ・一般会計 ・一般会計 ・一般会計 ・一般会計 ・一般会計 ・一般会計 ・一人、〇八 ・一人、〇八 ・一人、〇八

『東京二十四日登』 農村負債整理 出家は本日午前の貴族院委員會を 醫師法改正案 理案通過整

九一、一〇六

『東京二十四日餐』楽誌院の餐職 会議で再鑑議に附もた結果、同意 兩院協議會へ

以て特殊官吏、衛生官吏に秘密「軍の情滅は悪久震厚さなり、 士属・三郎
お(民) 本法は命令を けることにした、これがため より腹心の勝利を目陥役さし

四國協定に

小國側反對態度

観春戦争でヘンダーソーは何れる保管反野を表明し、サガニ十三日登 一年期間一成、アメリカは撃艦し、其他

聯盟軍縮一般委員會

作相祭臻中心に

### 過、清水を報告 態画館の 溶真 玉

記會計講座 經濟知識社

內容見本無代進呈

東京高数優」 上東京高数優」 上澤高数優」 和泉

號 (本日發賣

米國へ第一歩を踏み出す前に

松岡全權力强~語

大表のこさゝ た打つこさに を打つこさに

陣立てなる

陸海軍全権代理の外二大使三公使 を強軍全権代理の外二大使三公使 を関いて、我が軍権代表部の単立は が軍権代表部の単立は が軍権代表部の単立は

議出人様第追加案 線第追加案 の三案一括談題こなし討論採決の 解會 の三案一括談題こなし討論採決の

委員會脫退國同議會振肅

非化である 都合である 都合である からである からである からである からである からである

手綱を執ることへも午後七時間の場合の対象の

恩給法案或可決 貴族院委員會にて (政 井上順一君(國)より養成論、強へ 大津、 (文原房之助君外五十三名提出) でを上程し加藤久米四郎君忠衆派 (久原房之助君外五十三名提出) でも上程し加藤久米四郎君忠衆 (久原房之助君外五十三名提出) でも上程し加藤久米四郎君忠衆 (久原房之助君外五十三名提出) でも、警戒(國) 照君よりそれ (信遇歌 ) でも、 (本語歌 ) できる。 (本語歌 ) できる。

| 上、大いで参談本部家一部長古紅 | で、教育革新にリー・教育革新に | 大の北京 | 大の北京

か、又必要があるか、自生的外交に生くべき日本ほ此太平洋文で、工人力強い一歩を踏みるが、自生的外であるべきだ。

慎重調査の上でなけれ

端末の方は一寸。全球合せて居りませらか 北島政府委員 雑素を無津の祭港に繋でる郷田は二千六百十萬園

・ 直叉満洲方廊において幾らか艦線 ・ 直叉満洲方廊において幾らか艦線 ましては、ま年の鎌倉以来の政策 ましては、ま年の鎌倉以来の政策 をしては、ま年の鎌倉以来の政策 をしては、ま年の鎌倉以来の政策

ないものである。それはではない。故に永久によの統治権な預るさいふか

満鐵増資法案の

質問論陣

抑も國際聯盟は國家ではな

差別を撤して

上、日本の縄線統治、

我海軍當局にて指摘する所

社

れた問題さなずに至る可く、各 がてゐる。國際聯盟は恐らく之 でてゐる。國際聯盟は恐らく之

が、ドイツ政府は既に繋明を保護國は未だ鳴りを静めて居

镜

知る可きである。 知る可きである。 知る可きである。

さして共画法の下に施政を行

●戦咳に電話があり、その上に自 でまで電話があり、その上に自 でまで電話があり、その上に自 でまで電話があり、その上に自 でまで電話があるが、恐らく必要 はないだらう、電脈の公用、急 はないだらう、電脈の公用、急 はないだらう、電脈の公用、急 はないだらう、電影の公用、急 はないだらう、電話突胱の必須事

金園の境

を である、 
 はりに 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は 
 は

によれるないでは、 を受ける版において人種味差別を を受ける版において人種味差別を を受ける版において人種味差別を を受ける版において人種味差別を を受ける版において人種味差別を を受ける版において人種味差別を ◆去る十七日の市特別金美倉に小 整被並びに公學堂長官舎に電話の は架離するも使用線に認めない この決議であつたさうだが、私 この決議であったさうだが、私

大されているが日本側で密接なる職権の の模様である ではかる恐れが多分にあるので浦 が論理地方面も厳重な りを行び北浦監轄を膝で りを行び北浦監轄を膝

岡村副長入京

滿博縺れ

低金利は不可避

藏券日步六厘五

大連市能満洲大博覧會ではその事れまで、大連市能満洲大博覧會ではその事に表しました。
「まその下に委員機形等を践け各方談、」
「まその下に委員機形等を践け各方談、」
「まその下に委員機形等を践け各方談、」
「この絶議を博しながら着々準備を業だ。」

改めて属さ心の底に

春耕資金 三百萬元

奉天省要求額

 【東京二十四日餐】廿五日偕替餐 定し前回に地し一厘安であつたた
 「漁京の保定であるされる大蔵倉職祭一蔵側は日歩」め金融方面では可なり注目を集め 直に四谷の自邸に向つたが四五、できれる大蔵倉職祭一蔵側は日歩」なるがこれに對する観測は目下 漁京の保定であるさい。同村参謀副長、東京二十四日餐】廿五日偕替餐 定し前回に地し一厘安であつたた 舊制を徹底数

郵便貯金

滿洲國族

るが認可あり大第事務の開始

のるがこの上特別委員制度を設けていないのでは、自分の職員に「推薦されてゐる、自分の職員に「作を持たないさいふなら極別でいるなら極別で

大豆强保合南支筋買い

事務接收後総意執務能を暫職して に実明したこころによると 事務接收後総意執務能を暫職して に実明したこころによると が一般民衆の零細なる郵便時金の あるので撤金者への振墜・ か一般民衆の零細なる郵便時金の あるので撤金者への振墜・ かし政府さしては響車関時代の官 成立によって強金者への振墜・ かし政府さしては響車関時代の官 成立によって強金者への振墜・ 選れるが失ばれた強金者の悪災・

がは、なは非常の事態に直動して居 りまして、色々画防臓像から者へ りましても、輸送に對して十分の艦 が満洲方面

公設市場便り

萬世ホテル \*\*

**心**查试驗 **心**查試驗 **心** 

(水先人) 同上ヤマ

すらノ 満鐵の増資案 委員會の秘密會成功 トと運んだ

匪化苦力を嚴戒

純良な出稼農民歡迎

城近郊に 一家族移民

に着手する の移住多く北海の際後事業は本年 を開き整つ 鮮内地からも先住者な親つて慶民 が開き整つ が内地からも先住者な親つて慶民 に土地買收に着手

の知識階級失業者は漸次増加し本【東京二十三日費】東京府に於け

開心を以て注目されてゐる がこの問題をごう取扱ふか多大の がこの問題をごう取扱ふか多大の 失業三萬五千

司

ぜひ度お試し下さいで大大四八 國譽忠曾

御存じですか 安くてとても美味しい 大連市信濃町市場 電話四四五七巻

▽高島屋愈々利益増加に轉で

復活は一次情の東

その他手機型機関日配を良品戦弾一般の顕微に概ずる機時に否認者に難し戦争戦戦をなる労働にて廿五、大、七日の三日戦闘戦刑栄事職者所に於て行ばれるとこなつた戦戦域、機物、環場、被て領年和微な人類を停してゐる大連市内の各議戦冷事業者所の手橋品版戦艦は今年はその第十時で、

手数品展覧會(各滿鐵家事講習所主催で)湯洲における衆庭手書の

明さ曲つた白髪の老人が人

日

### Ħ 震災義捐金 に手交す

社支助に選挙したので并上取締役は早速議會に内務省丹弥社會局長官な訪問、右の義捐金な手交した、丹弥長官は本紙要讀者東京特電二十三日發展 東北地方、北海道の一部農災罹災民に對する第二回義捐金三千個は二十三日朝鮮銀行を経て 一三日本社東京支社を經て 丹羽長官厚く感謝

なを見るこその水がででなる。 を掛ける犯人があるのなく

い吉兆ださいはれてるたらのい吉兆ださいはれてるたらの

たい、由本内務大臣も大變喜んで居りました。 一般送分配の手續をとりましたが、また三千圓頂戴したい、由本内務大臣も大變喜んで居りました。 一般送の手續をどることにいたします、貴社な連じてこれで六千圓の養化ので取り急ぎ罹災地へ送金の手續をどることにいたします、貴社な連じてこれで六千圓の養化ので取り急ぎ罹災地へ送金の手續をどることにいたします、貴社な連じてこれで六千圓の養化ので取り急ぎ罹災地へ送金の手續をどることにいたします、貴社な連じてこれで六千圓頂戴してい、日本内務大臣も大變喜んで居りました。

七十四の老人

語學校を卒業 元氣篤學、青年を凌ぐ 辯護士の岳父 加藤源次郎翁

参へて二十四日の本型式で能応よ (水業する七十四段の本型式で能応よ をたる二十三日後、語感校を訪れ 反その人である、端の本型式の前 変たる二十三日後、語感校を訪れ 大き、間内核型まつ出て来て あの時はこんな老人が若い者と 一緒にさてし轍くものか、精々 三箇月と思つて試かに入學を許 したのですが、それが若い者と には大感像像門か出て離地優別居 から遺に無心で三箇年間通學し とたのですが、それが若い者と には大感像像門か出て離地優別居 には大感像像門か出て神地優別居 には大感像のは、こととと たいるのか、特にといるのか、特々 には大感像像門か出て神地優別居 には大感像像門か出て神地優別居 には大感像像門か出て神と五動年間雑巻 など、こととと たいるのか、特には には大感像像門か出て神地優別居 には大感像を など、こととと たいるのが、では ないるのが、では ないるのが、 ないるのが、

照宮樣御歸京

年前十一時十八分東京着海崎京選中の照宮様は風邪御を快二十四日中の照宮様は風邪御を快二十四日

建國記念の

大運動會開催

だが、毎晩の御勉強でお疲 (藤浄次郎翁)

絢爛

の春に競ふ

憧れて間島へ

山東方面の支那人

大阪商船更に二隻を増置して

旅客を惱殺サービ

を事さなつよ を事さなつよ。 を事さなつよ。 をできる両船の配 が、 通鑑を実施を実現せんです。

職島の治安が維持され住民はより場所にかその後日本軍によっ

でした大阪商艦は内地大連航路に はした大阪商艦は内地大連航路に は 変の貨幣よりは戦災へをモットー 見 お目見得する 萬噸客船も

【奉天電話】我軍の入城により全く平定され平和城となった承徳 ではこれを認念するため去る二十一日建國認念大運動會を開催し た、來會者三千名に達し飯る際況であった 平和郷の承徳で

冬眠よりさめた

但しこれは一寸の間 同社新船提供の試験的就航さ 解性の が必要さされて、ある、いっさされてある、 スだ 支店の話

續々ごながれ込む してゐる、現在工事狀態に東ローニ十三日に至り窓に幾り千尺を切ったが、 関連するか騰瀬出来なかつたが、 今秋十月に 野 用

アメリカン

大

通洋

服店

洋服なら 型は皆様のキット 御氣に召す

東京玉澤運動 支具店店

庭

球

公文書僞造行使詐欺害

被告の奇怪な

めどんな行為をしたか難えて居り一り午後七時間年の恵命の概和七年一月頃は異の機線。に當時の監治と監人に登断の概和七年一月頃は異の機線。に當時の監治醫士

王道政治に

解氷近し

河々

杉箱 桐箱

OF

doy

**界各**國酒類

· 食料品

品味調のらなはてくな

すぐそばにブールなこしらへることが特徴に申出ました、一駆麻後の スワ火事ださいふ時には、

眞白いうなぎ

週

』の補正

幸田武雄

華北時局餘関(江口次郎) ◆第4巻2號出來◆上海反戰大會(新野治男)、◆第4巻2號出來◆

各 地名産 滿洲評論社 經語二六元 极

東 本 附海 大山通 苔苔 四二一二 入五一二 〇〇〇〇 店

二十五日。 反本枚枚反反反反 一支 一一工工工工 大反反物物枚反反 ーニー 一個所面五六十四個五六十十十段経過がよりがある。 一個の五六十十段経過である。 一個の五六十十十段経過である。 一個の五六十十十分によっている。 一個の五六十分によっている。 一句の五六十分によっている。 一句の五六十分によっている。 一句の五六十分によっている。 一句の五十分によっている。 一句の一句の五十分によっている。 一句の一句の一句の一句の一句の一句の一句。 一句の一句の一句の一句の一句。 一句の一句の一句の一句の一句。 一句の一句の一句の一句の一句。 一句の一句の一句の一句。 一句の一句の一句。 一句の一句の一句。 一句の一句の一句。 一句の一句。 一句の一句。 一句の一句。 一句の一句。 一句の一句。 一句の一句。 一句の。 一句

日廿分四 新幣九枚、十錢銀貨一つ、 て見ると、十圓紙幣九枚 大型のと、十圓紙幣九枚 に曰く「三十三番牛吉」

捐者芳名

建西田內科

大連鴻業公 人連逢坂町

を験を推構しそれのを何れら豊実せらめて意だ、親京方面に潜入せらめること、が最近職権院の消扰日の繋跡を取めんさ日 浦 要人の暗殺を計畫し事の財役より脱出した都織権は目下風城縣千山窟に潜伏策動

要人暗殺を企らみ

多數の學生を放つ

果海岸大震災

安楽二十四日午前

**玉澤のアメリカンボール** 關東州大會 使用球・・・・ラッキー 各地野球大會

滿 洲

用 電二二二三七

用具 陸上競技用品 球 球 大連市連鎖街

日

はさへ危つかしいので、それを何った。なに、これが最後だ、逃げて下へば後はどうなつても、さ云いが最後だ、逃げてすべば後にどうなつても、さ云いりに後にくらもあつた。が論、や目標はいくらもあつた。が論、や目標はいくらもあつた。が論、

湯田仙

(四)

(141)

「殺された女つての、君なんか案ないか」

後はすぐ瑞传の事を考へた。 で、最は樂にゆうだりしてゐた。 で、最は樂にゆうだりしてゐるので、最は樂にゆったが、親迄髪 ない事を示してゐるので、最は樂にゆったり直でゐるの。

**戸田平三郎** 大阪東高南本町五八二 大阪東高南本町五八二 変量見を開発を設置動服装を設置があります。

大量性調整の日本商工木管は

世界的遊戲

殖器障

肝油研究の權威薬學博士

河"

迦歌用利 施設館群の学見阪京 其軍臺灣

福牌軍手頭 Ш

研究所

海嗎呀路肉啡片

療開始

啡片

0

花內柳小

醫

院

大連市紀伊町二三電車通

滋

談會」

眼

黄一三七五話電

世界的の榮養料

捌賣

| 寮寨代用三隈以下よろし、東京市内は一場にても屋港)|| 最寄に品切れ等の節は本舗より直送す。|| 集店、和洋酒食料品店、雑貨店にあり

◎ミツワ石鹼本舗 丸見屋商店 薬品部 東京・南側(日本橋属米澤町)振巻東京七一○東京・南側(日本橋属米澤町)振巻東京七一○

日本で發明せられた

者等に對し直接醫療方法の傍ら榮養補給を目的とするに最も適當且理想的です骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有する病弱退、老妻、神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜盲等の眼病、及佝僂病の如き美味佳香の小球形の菓子狀にして一般榮養不良、虚弱、貧血、産前後、精力減

個

五十颗八五十颗八五十颗八 百世類人 二周二十錢

ARBONIN

Ξ 四 322 693 495 101 537 149 964 138 888 360 又は 金廿 又はポ 高 ラ 又は チ 上金 圓 也剛勸業債 ブ セ 石 音 鹼 器 五客 华 台 個 組 個 組

●すで通共組各てベす上以●

會株

近 藤

利



すばらしい大盛況裡に締切ました本特賣も 対策の下に最正抽籤の結果 上記の通り當籤番號を决定いたしました 依つて景品は一、二、三等とも御希望の品拜承の上御品は一、二、三等とも御希望の品拜承の上御品は一、二、三等とも御希望の品拜承の上御品は一、二、三等とも御希望の品拜承の上御品は一、二、三等とも御希望の結果 上記の通 販賣店各位の熱烈なる御援助に對し

経は アシテ ϯϔ 结



くて效果第一の肝油製築養料

消化吸收最も良く

變質腐敗の憂い無き

PBR版 大阪のアナロタ版 TREE AND MAR RE AND MAR スプ・ロドル 日本 Cod Liver Oil Props を持ちては、日本 を持ちては、日本 では、日本 では、日本

本、鎌、キナ、及ヴィタミンB等を加へて、小見も悦ぶ菓子栽とした と濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしめた日英米佛專賣特許の濃厚肝油を乳化し、更に之に骨 で濃からしが、紫花の質に五十倍に 合龜太郎氏の世界的業績 超獎 東京博寶 化學工業博寶 化學工業博寶

等功實

商 店

吉林教育費

天照園移民實習生

愈希望の新天地へ

來る廿八日金州出発

神戦が大大公司

板挾みの地方事務所

何處に落着くか

(古林) 野報小學校の教育委託費

ふ莫大な委託費は到底負擔不可さしては現在の處一萬何千圓と

て勝光派に至らんさする天際戦を一多大の希望を抱いて耐々目飾地にて一年、堪へ離い苦痛に打ち勝つ一午前七時五十分金州養の列車にて「金土」除懈智融を受くること正一民質智所生三十名は来る二十八日

留學警察官

華々しく鹿島立

十一時より順係有志を

甲位

御下賜品

二十三日のはごで

日

を呼ぶ策

断じて閉鎖せぬ

傳へられる廢止説に關して

安武所長代理語る

鐵路局や民會なごが

近く具體案を決定

・動くで土地有力者で図め お本年著民會議員の影響が 使人の大なる期待な受けて で大いに復讐されて居る

四平街取引所は

春・解氷と

B

發展を目ざす吉林

諸機關の移轉請願か

取締規則改正せられ

四月第一回の檢查

初乘旅行者

第一回の検査

北て戦行をすることになるのである
から具體的の問題は追つて協議
から具體的の問題は追つて協議
から具體的の問題は追つて協議
から具體的の問題は追つて協議
か機能な十二分に要揮をせればならぬと思ふ、北海
なっが一致した輸掘となった。
された如くに早合品して加藤君
理事者側の意向の機様で

貸付條件を緩和し

可及的廣い範圍に

融通低資の貸付方針

見本量Q欠較適要區內中、斯 鍼灸 試験問題詳算 鍼灸 試験問題詳算 動型

ででは、 がら字は、 でででである。 でででは、 ででである。 ででは、 でででは、 ででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、

分に 療さを 今こそ 充 たの 変見の 健 は た

るのです。

大阪海區西市岡町二丁目

**率**業式 **少**校

愛兒の健康

小さな感激

大石橋幼稚園滿了

東小路ナショナル金銭登 大日午前隆縣書店 大日午前隆縣書店 大日午前隆縣書店



質問 質問以及 受問 有り但し

無人の雪至急速渡電ニー四五の間が近日下降駅中なる

金黄 佐々木洋行

正願の肝 呼吸器障害に

まや 電大大〇二番 電話二二五九五

製造元 片 間

**養衣** 裳 日隆町 三浦屋

貸衣 裘

電話二二六四五番

あま酒

月泊込一圓より

家政婦 需三六六三 明治以一周より 西公園町五 印刻派灣 印刻派灣

古本の御用は

建多忙會員至急募 整條第一丁昌三 整條第一丁昌三 一

漢述町二宮崎倫明堂電五九一八 変イ ヤを質

拓茂洋行紙店 電五四三九

派遣

自帆・天帆高級御化粧紙は大連市伊勢町五三拓茂洋行紙店

東京町10 電気でも九 東京町10 電気でも九 東京町10 電気でも九 東京でも九 東京でも元

近江町参参三隅切安備

電話三九七一番連市西運九三常盤桶附近

川協科院

三河町 池内 電話八六門札 瀬戸物へ彫り込み

電五二九七番 永

クサ 楽有り

實印

在宇宙を持ちている。

日案内

金金金六九五拾棺



さんの 

 本眞 劑血止力强製器臟の澤藤

沖路

垂店

MORINAGA'S ONDENSED MI

洗

きれ

髪を美しく

しなや

女學生の方々も・外で働らく御婦人も・ いな小凾入シャンプー

髪は手まめに洗ひませう おお とさら 春は埃

す 分回二らな製

て

切初

3 仕事着 帯一切の仕立方 帯一切の仕立方 帯のの仕立方 トの仕立方 トの仕立方 トの仕立方 トの仕立方 トの仕立方

號友主 定四婦 價月之



家事に動しむ奥様方も 0



四日

世界戦慄國防篇
世界戦慄國防篇

B

一日『絕對

番組

料後生五

名